



2026年9月29日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連合関東地協「第 35 回定期委員会」開催！

労働組合の重要性を発信するとともに、地方協議会の連携強化による
J R 連合への総結集とすべての労使の信頼関係構築を目指す！

8月26日、J R 連合関東地方協議会は、東京都内で第35回定期委員会を開催した。向こう1年間の活動方針を決定するとともに新体制を確立し、新年度の活動を力強く展開していく決意を固め合った。

冒頭、挨拶に立った相良夏樹議長（J R 連合特別執行委員、J R 東海ユニオン中央本部書記長）は、安全の確立、組織、政策実現に向けた政治活動について課題提起を行った。とりわけ、組織に関して、例年実施しているレクレーション活動による組織強化・拡大の効果を強調するとともに、民主的で組合員目線に立った J R 連合の諸活動の良さを広く伝えていきたいと述べ、出席者に対し「労働組合活動を過度に堅苦しく考えず、疑問や意見を率直に出し合いながら楽しく参加してほしい」と呼びかけた。



相良議長



石川産業政策局長

J R 連合からは石川敏也産業政策局長が参画し、日々の取り組みに敬意を表するとともに、地協活動の重要性について触れ、異なる会社の出身であっても、J R 連合の名の下に集い利害関係を超えて交流・活動できることの重要性を伝え、連帯・激励の挨拶を行った。

続いて、有尾琢磨事務局長（J R 東海ユニオン新幹線地方本部書記長）より経過報告、活動方針案・予算案等が提起され、満場一致で承認された。



有尾事務局長

役員選出では、長年にわたり関東地協活動を支えてきた鈴木哲夫副議長（貨物鉄産労）、恩田佳祐副議長（SMT 労組）が退任。相良議長らを再任したほか、地協活動の強化を図るべく、J R 連合東京都協議長・神奈川県協議長・山梨県協議長が執行委員に加わる新体制を確立した。最後は相良議長による力強い「団結ガンバロウ」で締めくくった。

新執行部【三役】

議 長 相良 夏樹 (JR 東海にわ) [再任]
副議長 松田 秀幸 (南関東DJ労組) [新任]
" 吉田 周平 (SMT 労組) [新任]
" 浅海 克敏 (イーストにわ) [再任]
" 渡邊 有造 (JR 東海にわ) [再任]
事務局長 有尾 琢磨 (JR 東海にわ) [再任]

